

第1回病院・薬局実務実習推進委員会会議議事録（確定）

日 時 : 令和5年12月11日(月) 10:00~11:55
形 式 : ハイブリッド会議(現地+Zoom)
場 所 : 日本薬学会長井記念館 1F C 会議室(ホスト会場)
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

◎ 病院・薬局実務実習推進委員会の開会について

本間代表理事より第1回病院・薬局実務実習推進委員会の開会が宣言された。

まず、今年3月15日に開催された新薬剤師養成問題懇談会の資料(参考資料1)により、薬学実務実習に関する連絡会議は令和4年度末で実施期間が終了し、令和5年度から薬学教育協議会においてガイドラインの見直し等に係る議論や検討を行うことになったことなど、本委員会設置の経緯について説明があった。

なお、本委員会は薬学実務実習に関する連絡会議の委員構成を踏襲し、関連団体から委員をご推薦いただき、就任いただいたことの説明があった。

参考資料2を用いて、薬学教育協議会の中で病院・薬局実務実習に関連する委員会(中央調整機構委員会、認定実務実習指導薬剤師認定委員会、認定実務実習指導薬剤師養成委員会と本推進委員会)の位置付けと役割の説明があった。また、新薬剤師養成問題懇談会に本委員会で議論した内容を示すこととしている。なお、本委員会は、薬学教育協議会の常置委員会として設置されることも説明された。

1. 委員の自己紹介について(資料1)

資料1により委員の自己紹介がなされた。

また、文部科学省、厚生労働省の出席者紹介もなされた。

2. 委員長の選出について

本間代表理事より、本委員会委員長の選出について提案があった。

本委員会が薬学実務実習に関する連絡会議の後継としての役割を担っていくことを踏まえ、昨年度まで同会議の座長を務められた太田 茂先生を委員長に推薦することが提案され、審議の結果、満場一致で太田 茂先生が委員長に選出された。

3. 病院・薬局実務実習中央調整機構委員会報告について(資料2)

本間委員より委員会の活動状況について、資料2を用いて第45回~第48回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録を用いて議事概要について説明があった。

また、良い事例の報告は、協議会においては年度末に項目ごとに整理し、HP にアップすることで指導薬剤師の指導に役立てていただいているとの補足説明がなされた。

4. 薬学実務実習の現状確認と更なる充実改善に向けたアンケート調査 集計結果について (資料 3-1、3-2)

鈴木委員より、ガイドラインの改訂にあたって、実務実習ガイドライン改訂 WG で1年程、改訂に向けた話し合いを進めてきたが、実務実習や臨床教育の詳細について、大学の現状確認が必要となり、資料 3-1 により大学にアンケート調査を依頼した結果を踏まえ、ガイドラインの改訂版を策定することとなった等の経緯について報告があった。

今回のような実習期間等の具体的な調査は初めてであり、全国92%の大学から回答があった。続いて、資料 3-2 に基づき、調査結果の概要報告があった。

○実習施設の実施体制 ○地区調整機構の役割 ○実習施設との情報共有
○実習中のトラブルの対応と防止 ○ハラスメント防止の徹底 ○実務実習の評価等 に関する調査が主な内容であるが、大学間の温度差は見受けられたが、各大学で臨床準備教育、実務実習終了後の教育について、様々な工夫があり、いろいろな学修が実施されていることが確認できたとの説明があった。

太田委員長より、このアンケート結果を確認の上、大学の実態把握をいただきたいとの発言がなされた。

5. 臨床における実務実習に関するガイドライン～薬学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)対応～(案)について(資料 4-1、4-2、4-3)

鈴木委員より資料 4-2 に基づき改訂の概要が説明された。

主な内容は、○臨床における実務実習に関するガイドラインの目的 ○実務実習の在り方・目標 ○「F 臨床薬学」を学修する3つのフェーズ(・大学で行う患者個別の薬物治療を中心とした学修・医療現場等で患者・生活者から学ぶ臨床における実務実習・実習終了後に各大学が行う卒業に向けた臨床薬学の深化・一般化を進める学修) ○実務実習の枠組み(薬局-病院の順で行うことを明記、22週の実習後に追加の臨床実習を8週間程度行うことを努力目標)・連携(「実習中のトラブルへの対応と防止」の項目の新設) ○実習施設実習体制の整備 ○大学での実習実施体制の整備 ○大学と実習施設の円滑な連携 ○実務実習の進め方と評価 ○標準的な実習内容・評価の提示(・標準的な学修(実習)の進め方と指針・標準的な実習内容(例示)及び概略評価(評価ルーブリック))を別添資料として提示 等々について説明があった。

ガイドライン案の説明後に、種々活発な意見交換が行われ、このガイドライン案の承認について、太田委員長より提案がなされた。その結果、薬学教育協議会が公表後実施までに具体的な実施策を策定することで了承された。

6. その他

特にご意見が無かったため、閉会となった。

別記1

第1回 病院・薬局実務実習推進委員会 第1回(12月11日開催)

構成員氏名	所 属		出欠席
森部 久仁一	国公立大学薬学部長会議 R5 幹事校	千葉大学大学院薬学研究院	Web
木原 章雄	国公立大学薬学部長会議 R6 幹事校	北海道大学大学院薬学研究院	Web
井上 圭三	日本私立薬科大学協会 会長	帝京大学	Web
中村 明弘	日本私立薬科大学協会 副会長	昭和大学	Web
長津 雅則	日本薬剤師会 常務理事		Web
松浦 正佳	日本薬剤師会 理事		Web
奥田 真弘	日本病院薬剤師会 副会長	大阪大学医学部附属病院	Web
石井 伊都子	日本病院薬剤師会 理事	千葉大学医学部附属病院	Web
岩淵 好治	日本薬学会 会頭	東北大学大学院薬学研究科	Web
西島 正弘	薬学教育評価機構 理事長		Web
伊藤 智夫	薬学共用試験センター 理事長		Web
本間 浩	薬学教育協議会 代表理事		現地
太田 茂	大学関係者	和歌山県立医科大学薬学部	現地
鈴木 匡	大学関係者	名古屋市立大学大学院薬学研究科	現地
荒田 洋一郎	大学関係者	帝京大学薬学部	Web
亀井 美和子	大学関係者	帝京平成大学薬学部	欠席
文部科学省	オブザーバー	高等教育局医学教育課	Web
厚生労働省	オブザーバー	医薬局総務課	Web

別記 2

第 1 回 病院・薬局実務実習推進委員会 第 1 回(12 月 11 日開催)

<配付資料>

- 資料 1 病院・薬局実務実習推進委員会 委員名簿
 - 資料 2 第 45 回～第 48 回 病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録 概要
 - 資料 3-1 薬学実務実習の現状確認と更なる充実改善に向けたアンケート調査
 - 資料 3-2 アンケート調査 集計結果
 - 資料 4-1 臨床における実務実習に関するガイドライン ～薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 4 年度改訂版）対応～（案）.pdf 版
 - 資料 4-2 臨床における実務実習に関するガイドライン 改訂の概要
 - 資料 4-3 臨床における実務実習に関するガイドラインの別添資料（資料 4-1 の別添資料）
-
- 参考資料 1 「薬学実務実習に関するガイドラインの見直し」について
（新薬剤師養成問題懇談会(第 22 回) 資料 5 より)
 - 参考資料 2 薬学教育協議会内の実務実習関連委員会